

## 性被害 一人で悩まないで



内閣府の調査では、女性の13人に1人、男性の67人に1人が無理やり性交された経験があると答えており、年齢・性別にかかわらず起こります。同性でも起こりえます。また、性被害は強引にされるといったイメージがありますが、被害の約80%は身近な人や家族、恋人など「顔見知り」からの暴行です。

「あなたが望まない性的な行為はすべて性暴力」です

例えば、触られる(触らせられる)、キス、マッサージ、性行為、露出、盗撮、ポルノを見せられたり撮影されたりする、性的な言葉や態度で人権を侵害する行為も性暴力に当たります。また、恋人同士でもあなたの気持ちに反して無理やりされる性行為や、妊娠を望んでいないのにコンドームをつけずに行う性行為も性暴力です。(膣外射精は避妊ではありません。)

相談してください

「思い出したくない」「親や友達に知られたくない」「どうしたらいいかわからない」など戸惑いや不安な気持ちを一人で抱え込まずに相談してください。私たちはあなたの力になりたいと思っています。しかし、あなたが被害にあい傷ついていることは外見からではわかりません。だからこそ、勇気を出して相談してください。メールでも電話でも構いません。相談内容をあなたに無断で外部に出すことは決してありません。あなたが勇気を出してお話してくれることを待っています。



緊急避妊ピルを知ってください

緊急避妊ピルは、性行為後72時間以内に服用することで望まない妊娠を防ぐことができます。ただし100%ではありません。緊急避妊ピルは薬局で買うことはできず産婦人科を受診し処方してもらう必要があります。費用は約1～2万円程度です。お金がなく受診をためらう方はご相談ください。

周囲の人ができること

大切な家族や友達が被害にあうと、あなた自身も動揺しショックを受け、どのように対応してよいかわからなくなります。しかし、あなたがいることが安心を与え心の支えになることでしょう。

【無理せずできることをしてください】

- 身の安全を確保してください。  
被害場所から非難し安全な場所へ移動してください。  
緊急な場合は110番通報してください。被害者を一人にしないでください。
- 被害者の話に耳を傾け、気持ちに寄り添ってください。  
被害のショックで記憶がはっきりしない場合もありますが、無理に聞き出すことや否定したり、疑ったりせず丁寧に聞いてください。
- 相談相手のあなた自身も、辛く苦しい気持ちになります。一人で抱え込まず援助を求めてください。あなた自身をケアすることは被害者を支えていくことに繋がります。些細なことでもためらわずに相談してください。
- 医療機関、カウンセリングなどのケアを受けるよう勧めてください。



【相談窓口】

- 認定NPO法人 大阪被害者支援アドボカシーセンター <http://www.ovsac.jp/>
- 性暴力救援センター・大阪SACHICO <http://wco.life.coocan.jp/>
- 性犯罪被害相談電話全国共通番号#8103(ハートさん)  
<https://www.npa.go.jp/higaisya/seihanzai/seihanzai.html>
- 大阪教育大学保健センター  
<https://osaka-kyoiku.ac.jp/center/hoken/index.html>

